通話モード２　同時通話の「強制タイプ」設定について

DJ-R20D は、携帯電話のように呼び出し音を鳴らしてから通話を始める標準方式の他、「強制タイプ」が設定できます。この方式では、送信ボタン PTT を押すと同時に呼び出し音無しで音声信号が送信され、これに応答すると、お互いが送信している間そのまま同時通話で通信が行えます。ベル音の代わりに音声で「ＸＸさん、居ますか？」のように通話したい相手を直接呼び出せるほか、交互通話と同様に PTT ボタンが押されている間は送信を続けるので、雑音や通話場所の悪条件等で通信状態が悪くなっても通話自体は切断されず、スムーズに同時通話が行えます。（ただし 3 分制限でタイムアウトした場合は、一度送信を停止して、2 秒後に自動的に送信を再開します。）

注意：ＤＪ－Ｒ２０Ｄを強制タイプに設定変更した場合、交互通話中継器へのアクセスなど、一部の機能が使えなくなります。下記以外の通話モードに設定を変更される場合は、一度標準方式に戻した後で操作を行う必要があります。
[強制タイプ設定のままでモード変更操作をして、お使いになれる通話モード]
モード１：中継器を介さない直接交互通話 /モード２：強制タイプでの同時通話 / モード３：中継器を介して行う強制タイプの同時通話

同時通話で強制タイプを使用するには、下記の設定を行います。

* 設定を始める前に、キーロックをお使いであれば解除し（ファンクションボタンをしばらく押してカギのマークを消す)、イヤホンマイクなどは取り外してください。

1：説明書 P.22 を参照してモード 1，単信無線モードを選びます。
2：ダイアルツマミを 1 度押し下げ、ダイアルを回して uoL の後ろの数字を"9"にあわせます。
3: uoL-9 が出ている間にもう 1 回ダイアルを押し下げ、ダイアルを回して点滅しているグループ番号を"10"にあわせます。設定後、点滅している番号 ”10 ”が点灯に変わるまで数秒待ちます。
4：ファンクションボタンを 2 秒以上押しつづけると、カギのマークがディスプレイに表示されます。その後、下記の順でボタンを押してください。
フックキー2 回＞モニターキー1 回＞ファンクションキー1 回＞ダイアルツマミを 2 回押し下げる

5:正しく操作ができていると、ここで自動的に電源が切れます。電源を入れるとモード 2 の同時通話は強制タイプで動作するようになっていますので、説明書 P.24、モード 2：複信無線モードを参照して同時通話の設定をします。イヤホンマイクをお使いの場合はそれを接続して、下記のアクセサリーの使用方法をご覧下さい。
イヤホンマイクを使わないで通話するには、PTT キーを押します。応答する側も PTT を押せば、お互いが PTT を押している間、同時通話で通信できます。一人が PTT を放しても、相手が話している間はその声が聞こえます。

※標準の同時通話方式に戻す場合は、上記の操作を繰り返し行ってください。リセットでは、強制タイプは解除できません。
※どちらの同時通話方式で動作しているかを確認するには、モード２の同時通話モードで PTT ボタンを押します。「プルルルル」と呼び出し音が鳴る場合は標準、音が出ず黒地にＴのマークがディスプレイに表示されたら強制タイプに設定されています。

アクセサリーの使用方法：

Ａ：EME-21A,EME-29A 等のイヤホンマイクに搭載されている PTT-LOCK スイッチを使うと、３分に１度、２秒間タイムアウトする以外は連続してハンズフリーで通話ができます。この設定の場合、常に電波は送信されています。
Ｂ：EME-12,13,15A 等、VOX 機能付きヘッドセットでは、コントロールボックスの切り替えを VOX 側にしてください。話すと送信、黙ると受信、お互いが同時に声を出している間は送受信を一緒に行う同時通話、と自動的に動作が切り替わります。通話が終わったときに鳴るスタンバイ時の"ピッ"音が煩わしい場合は、セットモードでビープ音を"0"に設定してください。（説明書 P.39 セットモードのメニュー、P.41 のビープ音量設定)。尚、標準の同時通話モードでは VOX 側に設定しているとヘッドセットは使えませんのでご注意ください。
Ｃ：EME-19A では以下のように操作します。
＊　呼び出しと応答：EME-19A のコントロールボックス上の黒いボタンを押します。上記のＡ同様、PTT ロックが掛かり、ハンズフリーで通話できます。
＊　通話の終了：黒いボタンを再度押してロックを解除します。
尚、白いボタンは無線機の PTT と同様に動作します。（押している間は送信、指を放すと受信します。ロックは掛かりません）

注意：イヤホンマイクやヘッドセットなどのアクセサリーを接続した状態で、PTT LOCK 又は VOX を解除しないで電源を入れるとディスプレイが全画面表示になり、一切の操作ができなくなります。このときはアクセサリーのプラグを一度抜いてから電源を入れるか、PTT LOCK や VOX を解除してから電源を入れなおしてください。